

書面開催

令和3年度 第1回

中標津町上下水道運営委員会

事務局

〒086-1197

中標津町丸山2丁目2番地

中標津町建設水道部上下水道課

TEL 0153-73-3111 (内線 243)

議 題

1. 報 告

- 第1号 事業概要について P 1
(水道事業会計・下水道事業特別会計)
- 第2号 令和3年度の取組について P 5

水道事業会計及び簡易水道事業特別会計の概要

目的： 水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道の基盤を強化することによって、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与する。

令和2年度末

項目	水道事業会計			簡易水道事業特別会計		
	計根別浄水水系	西竹浄水水系	開陽浄水水系	養老牛温泉水系	西竹浄水水系	開陽浄水水系
① 地区	養老牛・上標準・計根別・当幌・豊岡・協和地区	西竹・一部俵落地区	開陽・武佐・一部俵落地区・一部俵橋地区	養老牛温泉水系	西竹・一部俵落地区	開陽・武佐・一部俵落地区・一部俵橋地区
② 創設年度	昭和25年 (平成12年第4次拡張し現在)		昭和27年頃から 簡易水道・専用水道・営農用水で始まり 統廃合しながら現在の簡易水道			
③ 行政区城内人口(人)	22,886人					
④ 給水人口(人)	19,810人	1,557人	519人	745人	21人	
⑤ 行政区城内世帯(世帯)	11,250世帯					
⑥ 給水世帯(世帯)	9,912世帯	686世帯	171世帯	358世帯	15世帯	
⑦ 給水普及率(%)	99.49%	94.48%	98.30%	95.76%	100.00%	
⑧ 浄水場名等	中標準浄水場	計根別浄水場	西竹浄水場	開陽浄水場	養老牛碱菌室	
⑨ 浄水場建設年度(供用開始)	昭和55年度 平成24年度管理棟耐震工事	昭和57年度	昭和59年度	昭和57年度 平成20年度(膜ろ過施設)	平成11年度	
⑩ 水源	俵落川(表流水)	湧水の沢川(表流水)	荒川(表流水)	ククパツ川(表流水)	ホソバツ川(湧水)	
⑪ 浄水施設	急速ろ過	緩速ろ過	急・緩速ろ過	膜ろ過・急・緩速ろ過	塩素滅菌	
⑫ 年間配水量(m ³)	2,154,619 m ³	650,767 m ³	558,651 m ³	418,117 m ³	11,832 m ³	
⑬ 事業運営費用	水道料金収入・企業債等					
⑭ 事業会計規模(R2決算)	955,399千円					
⑮ 一般会計からの繰入金						
⑯ 地方債現在高	2,094,854千円					
⑰ R3主な整備事業(予定)	① 配水管改修事業 ② 浄水場施設整備事業 ③ 漏水調査業務					
⑱ 維持管理委託	平成29年度から5カ年の包括委託を実施(H20～法定第3者委託) 委託業者: 水ingAM(北海道支店) 委託料: 年間98,754千円(簡水含)					
⑲ 配水管管路延長(m)	180.6 k m	104.8 k m	98.5 k m	104.7 k m	0.4 k m	
⑳ 中標準町水道ビジョン	平成26年度計画策定済み					

中標津町水道事業管網図



下水道事業の概要について [令和2年度末下水道整備状況]

※H24末より外国人含む

報告

(令和3年3月末現在)

1. 施設概要

	公共下水道〔中標準地区〕		農業集落排水〔計根別地区〕		特定環境保全〔養老牛地区〕		合 計	
	全体計画 S49年～R3年	進捗状況 R3年3月末	全体計画 H7年～H13年	進捗状況 R3年3月末	全体計画 H8年～R3年	進捗状況 R3年3月末	全体計画	進捗状況 R3年3月末
供用開始年月日	昭和60年4月1日		平成11年4月1日		平成13年3月31日			
1. 処理区域	887.8 ha	760.7 ha	64.5 ha	64.5 ha	4.9 ha	4.9 ha	957.2 ha	830.1 ha
2. 処理人口	19,500 人	18,801 人	1,230 人	687 人	465 人	26 人	21,195 人	19,514 人
3. 管渠	141,938 m	127,946 m	10,175 m	10,218 m	641 m	641 m	152,754 m	138,805 m
4. 公共樹	雨水	169,673 m	15,507 m	-	-	-	169,673 m	15,507 m
	汚水	-	2,899 基	211 基	-	14 基	-	3,124 基
5. 中継ポンプ場	汚水	-	8,547 基	388 基	-	3 基	-	8,938 基
	雨水	1ヶ所	1ヶ所	-	-	-	1ヶ所	1ヶ所
6. 中継ポンプ所	汚水	9ヶ所	9ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	-	11ヶ所	11ヶ所
	雨水	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	3ヶ所
7. 終末処理場	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	3ヶ所
8. 処理能力	11,425 m ³ /日	11,425 m ³ /日	406 m ³ /日	406 m ³ /日	190 m ³ /日	190 m ³ /日	12,021 m ³ /日	12,021 m ³ /日

2. 整備状況

(1) 普及状況

	公共下水道		農業集落排水		特定環境保全		合 計	
	処理人口	処理人口	普及率	普及率	普及率	普及率	普及率	普及率
普及率	18,801 人	18,801 人	81.7 %	81.7 %	26 人	26 人	100.0 %	84.8 %
整備率	備面積	760.7 ha	85.8 %	85.8 %	4.9 ha	4.9 ha	100.0 %	86.8 %
	許可区域面積	886.5 ha	92.7 %	92.7 %	26 人	26 人	100.0 %	92.6 %
水洗化率	水洗人口	17,422 人	92.7 %	92.7 %	26 人	26 人	100.0 %	92.6 %
	水洗人口	18,801 人	91.8 %	91.8 %	26 人	26 人	100.0 %	92.6 %

・下水道事業達成率 (処理人口/全計人口) (公共+特環) = 100.0%

(2) 水洗化状況

	公共下水道		農業集落排水		特定環境保全		合 計	
	面積	面積	普及率	普及率	普及率	普及率	普及率	普及率
処理区域面積	760.7 ha	64.5 ha	81.7 %	81.7 %	4.9 ha	4.9 ha	100.0 %	84.8 %
処理区域内人口	18,801 人	687 人	85.8 %	85.8 %	26 人	26 人	100.0 %	86.8 %
処理区域戸数	10,730 戸	443 戸	92.7 %	92.7 %	9 戸	9 戸	100.0 %	92.8 %
水洗化戸数(事業所等含)	9,929 戸	329 戸	92.7 %	92.7 %	9 戸	9 戸	100.0 %	92.6 %
(雑排水のみ接続外数)	184 戸	6 戸	92.7 %	92.7 %	0 戸	0 戸	100.0 %	92.6 %

・下水処理人口普及率 (公共+特環+農集+浄化槽) = 81.8%

・汚水処理人口普及率 (公共+特環+農集+浄化槽) = 92.8%

↓下水道整備新区域内合併浄化槽人口

R1年度末下水道整備区 域外浄化槽処理人口 1,843人 - 8人 = 1,835人 環境報告値

令和3年度の主な取組(上下水道課、浄水場、下水終末処理場)

□ 各事業の業務

中標津町水道ビジョン及び中標津町下水道中期ビジョンに基づき計画的に事業を実施しています。(各事業の財政見通しは別紙)

【水道事業】 配水管改修工事等(北1丁目通、南9丁目通等)、漏水調査(中標津市街地 戸別音聴4,730戸)、浄水施設更新工事等(水道施設監視用カメラ・ター外電気計装設備更新工事、浄水場導水管排泥池連絡道路新設工事)

【下水道事業】 中標津町下水終末処理場更新工事等(用水機械設備、用水電気設備、計測設備等) 中部地区下水道管新設工事(東9条北2丁目)、管渠整備工事(公共汚水樹新設)

【簡易水道事業】 配水施設整備工事等(西竹第2-1支線配水管改修)、道営畑地帯総合整備事業(西竹地区) 浄水施設更新工事(中標津町水道施設中央監視設備更新実施設計 他)

※地方公営企業法適用化(以下、「法適化」という。)事業(下水道事業、簡易水道事業)～国の方針による取組～

歳入歳出の官庁会計方式から、水道会計と同じ発生主義・複式簿記の企業会計方式への移行作業を進める(令和2～4年度)。
【令和3年度】固定資産の整備、条例改正や各種手続きの洗い出し、関係部局との調整事項の把握

□ 新型コロナウイルス感染症に係る対応

役場全体における中標津町新型コロナウイルス感染症対応業務継続計画や、上下水道課の業務継続計画に基づいて業務を行なっています。

I 分散勤務の実施

本町及び職員において感染者が発生・蔓延した場合においても、業務に支障が生じることなく安全で安心な水の提供を行う業務継続計画に基づき、職員体制を分散する「分散勤務」を実施しました。

これまでの分散勤務の実施
(1回目)令和2年4～5月末、(2回目)令和3年5月～6月20日、(3回目)8月27日～9月30日

□ 新型コロナウイルス感染症に係る対応（前頁からの続き）

Ⅱ 水道料金等口座振替新規加入キャンペーンの実施

新型コロナウイルス感染リスクを減らすため、新北海道スタイルを推進し、支払いに手間を取らず利便性の高い口座振替の新規加入を促進し、お客様のサービス向上を図るとともに、収納にかかる経費削減を図るため、口座振替の加入促進キャンペーンを実施しています。

○8月6日から10月8日の期間中、口座振替の申込みをした方の中から抽選で90名様に景品を進呈します。

景品は、「中標津 6つの旅湯（温泉の素）」、「農業高校生が作ったパウンドケーキ」、「牛乳贈答券」と、中標津町にちなんだものです。

○現在納付書で支払いをしている方が口座振替にすることで、感染リスクの軽減はもとより支払い忘れもなくなり、さらに水道事業にとっても収納に係る経費を減らすことができます。

□ 水道料金の改定

令和2年3月定例町議会にて、料金改定に係る条例の改正案が議決されました。営農用の超過料金を、令和2年7月1日より105円（35円の増）、令和3年4月1日から140円（35円の増）に段階的に改定しました。

○令和2年度における営農用区分の水道料金は、前年度比べて水道事業で363万円、簡易水道事業で2,788万円増額となりました。

○簡易水道事業では、料金改定の目的の一つであった、災害対応等に備えるための基金に積み立てることができました。（令和2年度末 簡易水道事業特別会計財政調整基金残高 1億1,414万円）

「水道料金の改定は消費税率の改定を除けば昭和58年以来であり、長期にわたる料金の据え置きは改定時に於いて大幅な負担が伴うことから、今後は経営状況や社会情勢などを踏まえながら、見直しの必要性について定期的（5年後を目安）に検証すること」と、料金改定時に運営委員会より答申をいただいております。

検証時期については、現在、進めている簡易水道事業の法適化以降に、経営状況などを踏まえながら検討を行いたいと考えています。また、下水道事業においても同様に法適化以降に、収支バランスの検証を行い、料金改定について検討を行いたいと考えています。

□ 応急給水訓練の実施

令和元年度に整備した加圧給水タンク及び給水コンテナ等の応急対応のため、昨年度に続き今年度も給水訓練を実施しています。



- 上下水道課に異動となった職員を中心に、給水コンテナの設置訓練を実施(7/26)
- 簡易水道開陽地区より応急給水を行い、浄水場にて給水コンテナに送水する訓練を実施(9/17)
- 全体訓練は9月中の予定でしたが、新型コロナウイルスに係る緊急事態宣言により10月下旬を予定しています。



□ 給水停止業務

未収金回収にむけて、給水処分実施基準に基づき、今年度も悪質な滞納者等へ給水停止業務を実施しています。

- 【第1回】8月31日に実施の予定でしたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言中のため10月に延期しています。
(給水停止予告通知155件⇒執行通知74件⇒10月上旬給水停止予定)
- 【第2回】11月に実施を予定しています。

＜参考＞ 水道料金における収納率の推移(過年度分を含む)
【H28】82.6% 【H29】82.9% 【H30】83.5% 【R1】83.7% 【R2】85.1%
※3月調定分は未収金となるため収納率が80%台と低くなる

□ その他 ご報告

中標津町浄水場の佐々木場長が、今年度、次の2団体より表彰されましたのでご報告させていただきます。

- 令和3年度(公社)日本水道協会北海道地方支部長表彰(勤続賞)～10年勤続表彰
 - 令和3年度北海道地方下水道協会表彰～15年勤続表彰
- なお、昨年度に全国簡易水道協議会会長表彰(15年勤続表彰)を受賞

中標津町水道事業会計 財政見通し

1. 財政見通し概要

推計値は、建設改良費及び多額の経費需要が見込まれるものを反映し推計を行った（収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みベースで推計）。収益的支出の原水及び浄水費では、令和4年度及び令和9年度に水道施設維持管理業務が5ヶ年の更新時期を迎えることから、物価上昇率を勘案しそれぞれ430万円、620万円の増、支払利息については、令和2年度までの確定分と令和3年度以降見込まれる企業債を基に推計したところである。収益的収入の給水管整備費では、配水管布設工事の増、支払利率を勘案（営業用を除く）し、現行料金体系により推計を行ったところである。資本的支出の配水管整備費では、総額8億2千万円と推計し、令和9年度からは道管畑地帯総合整備事業債橋地区を予定したところである。令和7・8年度に低区配水池建設事業で同様程度に令和2年度までの確定分と令和3年度以降見込まれる企業債の抑制を行ったうえで、資本的支出の建設改良費をベースに推計したところである。資本的収入の企業債では、令和3～5年度の施設整備に係る企業債の抑制を行ったうえで、資本的支出の建設改良費をベースに推計したところである。このような事業展開により令和4年度には、減価償却費及び資産減耗費の増加などにより当年度純損失の計上が予想されることである。（単位：千円）

区分	決算			算額			額			推計			値			
	29	30	R1	2	3	決見額	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
収益的収入及び支出（税抜）	449,836	448,256	452,982	465,080	458,025	454,312	451,880	448,997	445,926	442,442	437,270	433,406	428,264	425,075	422,259	
収入	416,611	413,508	415,814	413,343	422,600	420,436	418,027	415,593	413,174	410,730	407,949	405,148	402,330	399,531	396,715	
支出	412,370	398,523	439,370	435,551	393,080	474,807	499,045	481,376	509,127	526,918	513,108	520,378	522,003	522,759	522,759	
原水及び浄水費	75,828	69,373	70,017	64,174	50,529	69,226	69,226	69,226	69,226	69,226	75,408	75,408	75,408	75,408	75,408	
配水及び給水費	52,571	51,473	56,041	69,312	62,297	55,803	74,530	61,693	55,803	55,803	55,803	55,803	55,803	55,803	55,803	
減価償却費	169,064	176,683	184,312	198,413	189,990	221,735	230,986	244,237	244,045	251,745	258,947	266,983	269,958	272,283	272,283	
資産減耗費	17,472	11,470	36,218	12,565	3,326	41,416	38,244	20,606	54,879	63,333	33,788	32,423	30,606	28,787	28,787	
支払利息	30,654	29,650	28,242	26,699	25,684	24,968	24,400	23,955	23,515	25,152	27,503	28,102	28,569	28,819	28,819	
当年度純利益（純損失▲）	37,466	49,733	13,612	29,529	64,945	▲20,495	▲47,165	▲32,379	▲63,201	▲84,476	▲75,838	▲86,972	▲93,739	▲97,684	▲100,500	

資本的収入及び支出（税込）

収入	203,502	72,452	96,550	145,435	128,800	187,000	181,400	160,000	560,000	650,000	270,000	280,000	280,000	280,000	280,000	
企業債	162,900	17,100	43,800	95,800	128,800	187,000	181,400	160,000	560,000	650,000	270,000	280,000	280,000	280,000	280,000	
道補助金	35,642	42,434	42,089	6,302	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出	377,443	430,164	521,352	507,960	522,109	576,231	539,265	343,367	716,952	813,272	494,532	486,300	507,781	526,054	526,054	
水道施設等耐震化事業費	108,750	149,069	140,030	0	12,562	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
配水管整備費	20,985	43,978	72,261	159,742	152,606	218,911	215,017	190,000	170,000	260,000	300,000	290,000	310,000	290,000	290,000	
給水整備費	0	0	53,381	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
施設整備費	162,540	146,390	160,016	215,149	215,000	210,000	179,000	10,000	407,000	410,000	45,000	40,000	0	0	0	
企業債償還金	62,553	69,101	73,391	100,224	117,745	123,124	121,052	119,171	115,756	119,076	125,336	132,104	173,585	211,858	211,858	
収支差引額	▲173,941	▲357,712	▲424,802	▲362,525	▲393,309	▲389,231	▲357,865	▲183,367	▲156,952	▲163,272	▲224,532	▲206,300	▲227,781	▲246,054	▲246,054	

2. 企業債現在高推計

令和6年度まで同程度の企業債残高（平成30～令和5年度施設整備の企業債抑制）で推移するが、低区配水池建設事業の実施に伴い増加する見込みである。（単位：千円）

区分	決算			算額			額			推計			値			
	29	30	R1	2	3	決見額	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
内部留保資金	1,615,123	1,507,227	1,337,271	1,248,574	1,144,815	911,314	809,893	829,551	942,657	1,053,817	1,062,858	1,085,366	1,081,291	1,054,075	1,024,044	
現金預金残高	1,408,964	1,297,000	1,111,842	1,082,513	914,969	788,143	668,942	717,449	830,555	941,715	950,755	973,264	969,188	941,972	911,940	
企業債現在高	2,180,870	2,128,869	2,099,278	2,094,854	2,105,909	2,169,785	2,230,133	2,270,962	2,715,206	3,246,130	3,390,794	3,538,690	3,645,105	3,713,247	3,781,389	

中標津町下水道事業特別会計 財政見通し

1. 財政見通し概要

推計値は、下水道建設費及び多額の経費需要が見込まれるものについて反映した。

社会資本整備総合交付金の令和3年度交付予定額は要望額の約9割となったが、令和4年度以降の推計値においては国への要望額（100%）で計上している。具体的には、毎年4億円規模を見込んでおり、その大半を耐用年数を超えて稼働している終末処理場の設備更新が占めている。

総務管理費では、地方公営企業法の適用化に係る委託費等として令和3～4年度で950万円を計上している。

公債費については、令和2年度までの確定分と令和3年度以降見込まれる町債を基に元金及び利子償還額を推計したところである。

歳入の主なものとして、下水道使用料については、将来推計人口の減少率を勘案（特環は除く）し推計を行い、国庫補助金及び道補助金、

町債については、公共下水道建設費に併せて推計した。

また、一般会計繰入金については、基準内繰入金の推計を行い、歳入歳出で不足する額を基準外繰入金として推計したところである。

（単位：千円）

区分	決			算			額			推			計			値		
	29	30	R1	2	3	決見額	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
歳入	1,044,090	994,537	865,663	1,018,677	1,160,537	1,175,143	1,237,397	1,169,060	1,186,721	1,190,428	1,181,616	1,192,485	1,148,600	1,129,628	1,131,299			
下水道使用料	348,473	344,446	350,953	355,210	351,636	349,526	347,429	345,310	343,204	341,076	338,655	336,217	333,762	331,325	328,873			
公共下水道	335,957	332,159	338,493	342,287	339,094	337,059	335,037	332,993	330,962	328,910	326,575	324,224	321,857	319,507	317,143			
特定環境保全	1,527	1,596	1,676	1,543	1,516	1,507	1,498	1,489	1,480	1,471	1,461	1,450	1,439	1,428	1,417			
農業集排水	10,989	10,691	10,784	11,380	11,026	10,960	10,894	10,828	10,762	10,695	10,619	10,543	10,466	10,390	10,313			
一般会計繰入金	345,642	356,426	335,428	350,849	357,703	366,724	355,241	348,189	339,622	354,623	352,398	357,371	357,607	352,738	358,527			
基準内繰入金	267,242	265,442	262,527	265,162	288,725	356,673	347,035	339,264	332,816	323,277	321,970	324,382	315,109	315,617	315,617			
基準外繰入金	78,400	90,984	72,901	85,687	68,978	10,051	8,206	8,925	6,806	31,346	30,428	32,989	42,498	37,121	42,910			
国庫補助金	173,376	116,691	73,065	138,726	215,100	215,800	243,000	215,750	215,250	215,750	215,750	218,250	218,250	218,250	218,250			
道補助金	1,944	3,265	0	0	2,800	5,000	25,000	20,000	35,000	32,500	30,000	35,000	15,000	10,000	10,000			
町債	168,400	165,500	101,000	155,100	229,000	234,834	263,468	236,552	250,386	243,220	241,554	242,388	220,722	214,056	212,390			
歳出	1,044,090	994,537	865,663	1,018,677	1,160,537	1,175,143	1,237,397	1,169,060	1,186,721	1,190,428	1,181,616	1,192,485	1,148,600	1,129,628	1,131,299			
総務管理費	31,383	30,320	31,664	43,637	19,655	35,274	27,774	27,774	27,774	27,774	27,774	27,774	27,774	27,774	27,774			
施設維持管理費	219,230	210,339	211,175	232,937	238,621	243,082	243,082	243,082	243,082	243,082	243,082	243,082	243,082	243,082	243,082			
公共下水道建設費	293,222	246,666	125,191	261,194	426,559	431,710	476,710	434,710	424,710	424,710	424,710	424,710	424,710	424,710	424,710			
公債費	469,420	471,914	476,689	464,466	451,274	435,926	420,680	404,343	402,004	410,711	406,899	407,768	403,883	394,911	396,582			
元金	387,453	398,544	412,087	408,426	403,169	395,032	386,281	375,010	376,267	387,771	385,729	387,611	385,362	378,143	379,814			
利子	81,967	73,370	64,602	56,040	48,105	40,894	34,399	29,333	25,737	22,940	21,170	20,157	18,521	16,768	16,768			
歳入歳出差引額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
繰越明許費繰越額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
実収支額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

2. 地方債現在高推計

下水道本管整備に係る地方債（償還30年）の償還が終始始めていることから、減少していく見込みである。

（単位：千円）

区分	決			算			額			推			計			値		
	29	30	R1	2	3	決見額	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		
地方債現在高	4,328,018	4,094,974	3,783,887	3,530,561	3,356,392	3,196,194	3,073,381	2,934,923	2,809,042	2,664,491	2,520,316	2,375,093	2,210,453	2,046,366	1,878,942			